

つながるジャーナル 第五号

つながりをつくる、広島のアノベーション拠点「Camps」が発行する月刊新聞

特集

Camps で生まれるつながり「子ども × プログラミング」

Camps が沢山の子どもたちで活気溢れ、学びとコミュニティの場として活用されていることをご存知だろうか。今回の特集はアイルランドの一人の高校生がはじめた、地域の子供達にボランティアでプログラミングを指導する活動、CoderDojo（コーダー道場）。お話を伺ったのは 2016 年から活動を開始している「CoderDojo 紙屋町」、毎月 1 度ここ Camps を活動場所とし約 30 名の子どもたちが集まり夢中になって取り組む。

今回の特集では CoderDojo 紙屋町の代表竹口さんを中心に、活動に参加する 4 名のメンターの方々へ思い・Camps とのつながり・新しい試みなどをお伺いした。

「プログラミングというと、一人でパソコンに向かって黙々と作業をこなすイメージがあるかもしれませんが CoderDojo は大人が 1 から 100 まで指導するのではなく、分からないことは子ども同士作業で知識を共有しながら作業を進めていきます。自由な発想と子どもたちの交流を大切にすることで、自然とコミュニケーションを育むことができます」

そう話すのは CoderDojo 紙屋町代表 竹口幸平さん。取材を行った 1 月某日も Camps は沢山の子どもたちで賑わっていた。子どもたちが集まると自然と追いかけてこがはまり始めるものだが、プログラミングに打ち込む子どもたちの集中力は凄まじい。道場の「控」にもあるように、作るものから作業プロセスまで、基本的に大人（メンター・親）は口出しをせず、子ども主体で開発を進めていく。

さらに、CoderDojo は作って終わりではない。作成した作品を、スクリーンに投影し、数十人のオーディエンスが注目する中、ひとりずつ作品を紹介・実演をするのだという。「最初は声が小さく自信が無さそうだった子が回数を重ねるごとに堂々と発表する姿には胸にグツとくるものがありますよ、と竹口さんは教えてくれた。



CoderDojo 紙屋町の3つの掟

- 分からない事があつたらまず隣のニンジャに聞くべし
(聞かれた人は分かることは教えてあげること)
- 親はニンジャと距離を置くべし
(子供だけでは難しい Wi-Fi 接続などを除く)
- 発表には積極的に参加すべし
(見て、聞いて、発言すべし)

Coder Dojo 紙屋町

第一日曜：Camps
第二日曜：ProGym 新型コロナウイルスの関係で開催を見合わせております。詳しくは「CoderDojo」で検索。
第三日曜：ポートインク



「子どもたちが面白いを追求できる、そんな場所を作って行きたい」

竹口幸平さん
Coder Dojo 紙屋町 代表・メンター
ProGym 代表

日常的に子供たちが好きなものを好きなだけ作れる環境を作れないものか?と聞いていたという竹口さん。「見たり、聞いたり、調べたりして興味を持った知識を自分で実際にやってみる。そんなことが日常的にできる環境、子供達が学校終わりに児童館で宿題やボール遊びをしているように、自分で手と頭を動かし、失敗しながら学んでほしい。将来に生きる力を楽しみながら身につけて欲しいと願っています。

プログラミングによるものづくりを通じて、未来を切り拓くための「思考力」「論理構成力」「行動力」「対人能力」「表現力」の5つの力を育んでもらえたら。」そのような思いから、2020年1月より、小1~高3対象のプログラミングジム【ProGym】をスタートされています。



営業日：月～金（祝日を除く）
15：30～21：30 (TEL)050-5358-6650
中区東白島町 3-25 山田ビル 2F
・広電白島電停から徒歩 3 分
・JR 新白島から徒歩 5 分
・アストラムライン新白島駅から徒歩 5 分

↑ プログラミング途中分からない事を教え合う子供たち。CoderDojo にも ProGym に「先生」はいない。分からないことは大人に聞く前にまず子供同士で聞きあうのがルール。



会員登録・イベントや
セミナー情報はこちらから

イノベーション・ハブ・ひろしま Camps
広島市中区紙屋町 1-4-3 エフケイビル 1F
(TEL) 082-207-3335(FAX) 082-207-3336



「IT のチカラで地域創生 実現させていきたい」

中川 啓さん Coder Dojo メンター



長年プログラマーとして活躍される中川さん。IT の力で地域創生をしたいと東京から広島へ。Camps で開催される IT 界隈のコミュニティに参加するようになる。「地域を IT の力で育て、盛り上げていくためには子供を育てるのが近道。広島で学んだ事を生かし、いずれは地元の島根にも貢献していきたい」と意気込む。今年 1 月から「CoderDojo 津和野」を開始している。

「長い人生、好きなことで輝く選択を」

北尾 智さん Coder Dojo メンター



新卒で入社した会社も 30 年目。一度きりの人生、もっと面白い事したいという思いから、様々なセミナーなどに積極的に参加するようになった。「CoderDojo と出会い、メンターとして参加するようになったことで新しい仲間が一気に広がりました。「長年、面白い事・面白い人探しをしていましたが、「面白い」は自分たちで作っていくように思いました。」と話す。現在は、ProGym 運営にも関わっている。

「子どもに無限の可能性を知って欲しい」

金城 一樹さん Coder Dojo メンター



大学時代、地域パトロールのボランティア活動を行うなど、ボランティア活動が好きだった金城さん。プログラマーを目指したことや、界隈で仲間づくりをしたいという思いから、CoderDojo 紙屋町に参加し始める。CoderDojo では主に司会を担当。金城さんの優しい眼差しのおかげか子どもたちは常にリラックスして活動に挑むことができている。

「Camps がきっかけで繋がったご縁。個々が持つ価値観に刺激を受けた」

大庭正裕さん Coder Dojo メンター兼カメラマン



自分の視野や人脈を広げたいと思い Camps 会員交流やイベントに積極的に参加。Camps で開催された、「大人の CoderDojo」がきっかけで竹口さん・中川さんとならぎを持ち、CoderDojo のメンター兼カメラマンとして参加するようになった。子供たちが夢中な姿を写真に収めることが楽しく、現在は独立を目指しながら週末カメラマンとして活動中。

今月号の写真撮影協力